

2018年4月13日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 石田 健一

タンザニア国ムトワラ火力発電所及び送電線建設事業
(協力準備調査(有償))
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年4月6日(金) 14:03~17:18
- ・場所：JICA 本部(1階 111会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、加藤委員、久保田委員、田辺委員、日比委員
- ・議題：タンザニア国ムトワラ火力発電所及び送電線建設事業
(協力準備調査(有償)) スコーピング案に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配布資料：“Preparatory Survey on Mtwara Natural Gas Thermal Power Plant and Transmission Lines Construction Project in United Republic of Tanzania, Environmental and Social Considerations Scoping Report (Draft)”
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第89回委員会)

- ・日時：2018年4月13日(金) 14:30~17:10
- ・場所：JICA 本部(1階 113会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. INDC の削減目標と本事業の想定排出量の整合性について相手国政府に確認し、DFR に記載すること。
2. ダルエスサラーム近郊の海岸に有望なサイトが無いことを確認し DFR に記載すること。
3. 南部地域の将来の電力需要を改めて確認し、DFR に記載すること。

代替案の検討

4. ゼロオプションにおいて TANESCO 以外の電力事業者による事業の可能性を考慮して DFR に記載すること。
5. 代替案検討における 2 つの発電所サイト選定の経緯を DFR に記載すること。

スコーピングマトリックス

6. 発電所建設及び操業に係る船と漁船の事故の可能性について確認し、DFR に記載すること。

環境配慮

7. 温排水による水温上昇に伴う湾内の流況を含む海洋環境の変化や海洋生態系、及び漁業等への通年（乾季、雨季）の影響評価（CO2 吸収源への影響含む）を行い、その結果を DFR に記載すること。

社会配慮

8. 南部地域での配電網拡張の将来計画を確認し、その結果を DFR に記載すること。
9. Kiswa サイト周辺で生計向上を目的とした零細的な漁業（貝類、海藻の採集、小型の網による漁獲、釣り等）への影響評価を実施し、DFR に記載すること。

以 上